

国際新署名「核兵器のない世界を」を広げよう



# 岡山県原水協通信

2009年12月24日 No108  
原水爆禁止岡山県協議会  
700-0981 岡山市西島田町4-25  
TEL086-244-4526 (F)805-6172  
[kenmin@po5.oninet.ne.jp](mailto:kenmin@po5.oninet.ne.jp)

## 「NPT参加者を送り出す会」を結成 倉敷医療生協

### 29000筆署名と120万円募金で4名の派遣成功を

12月22日、倉敷・水島生協会館で「NPT再検討会議参加者を送り出す会」の結成会が開かれました。会は2010年NPT再検討会議に参加する倉敷医療生協の代表4名の派遣運動を成功させようとして作られたものです。午後6時から開かれた結成会には水島原水協に参加する組織の代表や、職場の仲間、さらに代表の理事の地元、児島からも参加するなど80名を超える仲間が参加。派遣運動を成功させようと熱気溢れるつどいになりました。

結成会は最初に、県平和委員会谷口事務局次長が「NPT再検討会議とは？」と題して、NPTの内容と歴史的経過、2010年の再検討会議の役割について講演しました。

つづいて代表に決まった和泉伸子(生協理事)、塚原朋子(看護師)、福田宏史(P T)、下須賀香奈子(看護師)の4名がそれぞれ決意を披露しました。

「会」では29000筆の署名と120万円の派遣募金を運動の目標に「多くの人の英知と運動を結集」する申し合わせを確認しました。

そのあと、「私たちの代表として平和を望む願いをしっかりと国連に届けて欲しい。」と4人の代表の職場、地域から激励のエールが送られました。

閉会のあいさつに立った倉敷医療生協清瀬専務は「医療生協の理念は平和。命を守ることを使命としている医療生協は命を奪う戦争に絶対反対だ。NPT再検討会議成功に向け全力をあげて頑張りましょう」と訴えました。



(上・結成会の模様、下・左から代表の和泉、塚原、福田、下須賀の4氏)



## 青年たちもがんばっています。

PPO(Peace Piece)ピース・ピース岡山に参加する青年たちは来年のNPT再検討会議に自分たちの代表・坪井亮子さんを青年の力で送り出そうと連日大奮闘しています。毎月6の日は岡山、9の日は倉敷で「折鶴宣伝」行動をおこなっています。12月19日、倉敷駅前宣伝には13人が参加、オリジナルなポスターを作り1時間に152筆の署名が集まりました。「今度は音楽を流しながらしたいね」の声も寄せられました。

この様子は赤旗日曜版新年号の1-2面記事として掲載されています

## 岡山県原水協理事会

2010年1月22日(金) pm6:30~  
岡山県労会議会議室

